

「被災地は今 ～復興の現状と課題を知る～シンポジウム」について

奈良女子大学附属中等教育学校 東日本大震災復興支援委員会

標記シンポジウムについて、下記の通り実施いたします。ご参加いただけましたら幸いに存じます。

- 日時 : 2013年1月13日(日) 13:00～17:30
場所 : 奈良女子大学記念館講堂
参加者 : ①本校復興支援プロジェクト有志生徒および本校生徒で参加を希望する者
③京都学園中高等学校の中高生
④奈良県立生駒高校の生徒、奈良市立田原中学校の生徒
⑤附属中等教育学校の保護者で参加を希望する方
⑥奈良女子大学生でアドバイザー役の者および、本校卒業生で参加を希望する者

シンポジウムの概要（以下は予定です。今後変更もあります）

- ①13:00～14:30 産経新聞の記者による基調講演
「被災地の現状と復興の課題～関西では知れないもの・しかし知って欲しいこと～」
被災地で取材にあっている記者の方1名、社会部で震災・災害担当を務め、東日本大震災の被災地取材も経験し、大阪市立大の宮野先生の協力で実施した震災被災者アンケートを統括していた広瀬地方部次長さま、被災地で取材をした写真報道局のカメラマンの方
- ②14:30～14:45 休憩
③14:45～15:00 宮城県女川町の高校生からのメッセージ (skype で登場予定)
④15:00～15:30 京都学園中高等学校の参加生徒による発表小
⑤15:30～16:30 参加生徒の小グループでの意見交換
⑥16:30～16:50 休憩
⑦16:50～17:20 各小グループの意見発表
⑧17:20～17:30 閉会行事 この後片付けなど。18:20 解散 (本校の生徒のみ)。

実施理由 : 震災後2年近くが経過し、一部の方々を除いて関西では「風化」しつつある。しかし、東日本大震災からの復興は、これからの日本社会に大きな影響を与える全国的な課題であり、生徒たちは多かれ少なかれ影響を受けるであろう。ならば、被災地の現状や復興の進捗状況、課題について知り、自らの問題として考えることには、大きな教育的意義があるといえる。そのため、以上のようなシンポジウムを企画し、実施しようと考えた。

備考 ・後援 産経新聞社・奈良県教育委員会・奈良県NIE推進協議会
・このシンポジウムは、附属中等教育学校の東日本大震災復興支援委員会が管轄する、有志生徒による復興支援プロジェクトの一部です。

問い合わせ先 二田貴広 (ふただたかひろ・奈良女子大学附属中等教育学校・NIEアドバイザー)

0742-26-2571 t-futada@cc.nara-wu.ac.jp